公 表 第 1 2 号

地方自治法第199条第14項の規定により、久留米市長及び久留米市農業委員会会長から当該監査の結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表します。

令和6年11月8日

久留米市監査委員	山 口 文 刀
久留米市監査委員	樋 口 明 男
久留米市監査委員	佐 藤 晶 二
久留米市監査委員	石 井 俊 一

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度： 令和5年度

部局名： 田主丸総合支所

指摘事項等			措置状況等
指摘事項	財務監査	契約事務 契約書中の文言の訂正を砂消しゴムで行っているものがある。	ご指摘を踏まえ、同様の事例が発生しないよう、職員間の認識の共有を図りました。適切な事務処理に努めています。
意見	事務監査	前年度、監査意見として、「4支所長全員が総合政策部理事を兼務するという組織体制の強化が図られたが、支所エリアを越えた振興策が進んでいない。それぞれの長を生かした地域活性化に加え、支所エリアを越えた地域振興や市としての一体感のさらなる醸成に取り組み、市民に見える形で組織体制強化に見合う成果をあげられたい。」との趣旨を公表した。 回答は、「地域の長を生かした地域振興の取組をうきは市などとも連携して進めていきたい。」との趣旨で、市としての一体感のさらなる醸成については記述がなく、取組も行われていない。 監査意見を真摯に受け止め、市としてのさらなる一体感の醸成を実現するための仕組みを、4人の総合政策部理事が総合政策部と協議して構築するなど、具体的に取組まれたい。 1市4町の合併から19年が経過している。	令和4年度から全総合支所に支所長を兼ねた総合政策部理事が配置されたことは、これまで歩んできた歴史や地域性の異なる旧4町が、各々の特性を活かしながら市域一体的に発展してくための政策調整や事業立案等を担うためであると考えており、その役割は重要であると認識しています。 令和5年度は、田主丸総合支所においては、7月豪雨災害に伴う復旧復興事業に全力で取組む必要があり、長を生かした地域活性化や支所エリアを超えた地域振興の取組を進めることが出来ませんでした。今年度につきましては、地域の声を的確に反映させながら、市全体のバランスを考慮して、着実に事業等を進めて参りたいと考えております。 市としてのさらなる一体感の醸成を実現するための仕組みにつきましては、総合政策部理事等による協議の場を設け、地域課題を共有し、議論を進めて参りたいと考えております。

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度：令和5年度

部局名：北野総合支所

指摘事項等			措置状況等
指摘事項	財務監査	財産管理事務	行政財産の目的外使用許可手続において、使用料の前納を理由に連帯保証人を免除しているが、手続の遅延により前納されていないものがある。
意見	事務監査		ご指摘を踏まえ、取扱事務手続を再度確認し、翌年度の更新手続き案内を書面で通知することとしました。今後は、管理・監督職による適宜確認を行い、適正な事務処理の徹底を図ります。
			北野総合支所では、地域の特長を活かした活性化の取組や支所エリアを超えた地域振興について、次のとおり取組を進めています。 ○近隣自治体との連携強化 ・西鉄甘木線沿線活性化を図るため、昨年度は、特に大刀洗町との連携を強化し、既存イベントの充実や新たなイベント開催に取り組んだほか、10月のコスモフェスティバルでは、大刀洗町、小郡市、朝倉市、筑前町にブース出展してもらうなどの取組を進めました。令和6年度も、引き続きイベントへの相互出展の機会を増やすなどの取組を進めてまいります。 ○東部エリアが連携した災害対策 ・昨年7月の豪雨災害時には、被害が大きかった大橋町、善導寺町、田主丸町の被災世帯からのり災証明の受付・発行を行ったほか、巨瀬川の豪雨被害に対しては、北野・田主丸両総合支所が連携し、国などへの要望等を協議・検討し、ハード整備の推進につなげるなど、東部エリアが連携した災害対策に取り組みました。 ○地域の特長を全市に広げる提案 ・農業実習生など多くの外国人が居住していることや、農業活性化に意欲的な農業者が多いなどの地域の状況を踏まえ、北野総合支所からの提案により、外国人との共生を進める取組を支援するモデル事業や、スマート農業の普及拡大のための実証実験事業を令和6年度予算に計上し、現在、取組を進めています。今後、北野地域での取組の検証等を経て、全市的な展開につなげていきたいと考えております。 今後もこうした取組を一層強化するとともに、各理事との意見交換を密に行いながら、支所エリアを超えた地域振興や市としてのさらなる一体感を醸成する仕組みづくりに取り組んでまいります。

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度： 令和5年度

部局名： 城島総合支所

指摘事項等			措置状況等
指摘事項	財務監査	契約事務 指名競争入札伺及び指名競争入札参加通知書に、入札参加者が1者である場合の取扱いを記載されていないものがある。	ご指摘後は、職員の契約事務に関する理解を深めるとともに、組織的な確認を徹底し、適正な事務処理に努めております。
指摘事項	財務監査	財産管理事務 行政財産の貸付に係る事務処理の専決権者を誤っているものがある。	ご指摘を受けて、直ちに訂正いたしました。 ご指摘を踏まえ、組織的な確認を徹底し、適正な事務処理に努めております。
意見	事務監査	前年度、監査意見として、「4支所長全員が総合政策部理事を兼務するという組織体制の強化が図られたが、支所エリアを越えた振興策が進んでいない。それぞれの長を生かした地域活性化に加え、支所エリアを越えた地域振興や市としての一体感のさらなる醸成に取り組み、市民に見える形で組織体制強化に見合う成果をあげられたい。」との趣旨を公表した。 回答は、「城島地域の文化や産業を活かした振興に取り組むとともに、その取組を西部エリアにも広げていきたい。」との趣旨であったが、振興策を西部エリアに広げるなど、市としての一体感をさらに醸成するための具体的な取組が見えない。 監査意見を真摯に受け止め、市としてのさらなる一体感の醸成を実現するための仕組みを、4人の総合政策部理事が総合政策部と協議して構築するなど、具体的に取組まれたい。 1市4町の合併から19年が経過している。	西部エリアに広げた具体的な取組については、市の筑後川遺産の登録を受けた「城島酒蔵ものがたり」を活用して西部ツーリズム協議会と連携しながら、西部エリア（城島、三潴、旧筑邦町）を対象としたボランティア育成講座実施や看板設置などを進めております。 また、三潴総合支所とは、共同による申告受付、先行排水、イベントの開催、職員研修に取り組んでおります。 引き続き、支所間の情報交換を密に行いながら、西部エリアの一体感の醸成につながるような取り組みを進めてまいります。

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度： 令和5年度

部局名： 三瀨総合支所

指摘事項等			措置状況等	
指摘事項	財務監査	公用車管理事務	公用車の運転前後に行う必要がある、アルコール検知器による運転者の酒気帯びの有無の確認を行った記録がないものや、運転者本人が確認を行っているものがある。	ご指摘を受け、同様の事例が発生しないように、支所内での周知・徹底を行いました。今後は適正な事務処理に努めてまいります。
意見	事務監査		前年度、監査意見として、「4支所長全員が総合政策部理事を兼務するという組織体制の強化が図られたが、支所エリアを越えた振興策が進んでいない。それぞれの長を生かした地域活性化に加え、支所エリアを越えた地域振興や市としての一体感のさらなる醸成に取り組み、市民に見える形で組織体制強化に見合う成果をあげられたい。」との趣旨を公表した。 回答は、「地域の長を生かした活性化を図るとともに、総合支所間や本庁関連部局と更なる連携を深め、支所エリアを越えた地域振興や市としての一体感の醸成を図って行く。」との趣旨であったが、具体的な取組が見えない。 監査意見を真摯に受け止め、市としてのさらなる一体感の醸成を実現するための仕組みを、4人の総合政策部理事が総合政策部と協議して構築するなど、具体的に取組まれたい。 1市4町の合併から19年が経過している。	地域の長を生かした活性化という部分では、3月の桜の開花に合わせて十連寺公園で実施された「にしむた春まつり」や、ふるさとみづま祭での酒の飲み比べイベントなどに取組んでおります。これらのイベントでは、SNSでの情報発信や新聞広告、西鉄天神大牟田線各駅へのチラシ配架などを行い、地域と連携しながら、支所エリアを超えた誘客や観光スポットづくりを少しずつ具体化しています。 市としてのさらなる一体感の醸成を実現するための仕組みづくりにつきましては、総合政策部各理事との意見交換を行いながら、議論を進めてまいります。
意見	事務監査		三瀨地域の下水道については、多大な投資をして整備を行ったにもかかわらず、令和4年度末の接続率は約41%で、市全体の約90%と比較して極めて低い水準にとどまっている。このことは、下水道整備を行った地域の約59%の世帯から下水道使用料収入を得られていないことを意味し、4年度決算の下水道使用料収入に対する企業債残高の割合である企業債残高対事業規模比率が1,175.4%と、類似団体平均との比較において、極めて高いことの一因となっている。こうした厳しい経営状況から、久留米市企業局は、「久留米市上下水道事業経営戦略」において「汚水処理手法の最適化」、「下水道使用料水準の見直し」等について検討するとしている。そうしたことを踏まえ、企業局と連携し、支所として下水道接続率の向上に取り組まれたい。	三瀨地域では、久留米市との広域合併前から合併処理浄化槽の普及促進を積極的に進めておりました。合併後、都市基盤整備として公共下水道事業に取り組んでおり、平成27年度より一部供用開始しておりますが、ご指摘のとおり、接続率は低水準にとどまっております。 下水道接続率向上の取組につきましては、生活排水処理基本構想の見直し状況などを踏まえ、企業局と協議しながら検討してまいります。 公共下水道と合併処理浄化槽による適正な生活排水処理により、地域住民に清潔で快適な暮らしを提供してまいりたいと考えております。

定期監査の結果に基づく指摘事項等の措置状況

監査実施年度：令和5年度

部局名：農業委員会事務局

指摘事項等			措置状況等
指摘事項	財務監査	給油チケット管理事務	燃料給油チケット（ガソリン券）の使用者と交付者が同一人物になっているものがある。 ご指摘を踏まえ、事務局内職員にガソリンチケットの適正な交付事務について周知しました。今後同様の事案が発生しないよう努めてまいります。